

鋳工業指数参考図表集  
(平成28年4月速報)

平成28年5月31日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成28年4月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.0	95.9	113.4	115.7
前月比	0.3%	1.5%	▲1.7%	▲2.2%
指数水準	H28.1 98.3以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H28.1 96.8以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H28.2 112.2以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.2 114.5以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月連続+ (H28.3~当月)	2か月連続+ (H28.3~当月)	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	2か月ぶり▲ (H28.2以来)
前月比幅	H28.3 3.8%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H28.3 1.8%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H24.5 ▲1.7%以来 (超)H23.12 ▲1.8%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H26.12 ▲2.9%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲3.5%	▲3.6%	0.1%	1.8%
前年同月比の動き	2か月ぶり▲ (H28.2以来)	5か月連続▲ (H27.12~当月)	2か月連続+ (H28.3~当月)	5か月連続+ (H27.12~当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲4.2%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.1 ▲5.4%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H28.3 1.8%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H28.3 3.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

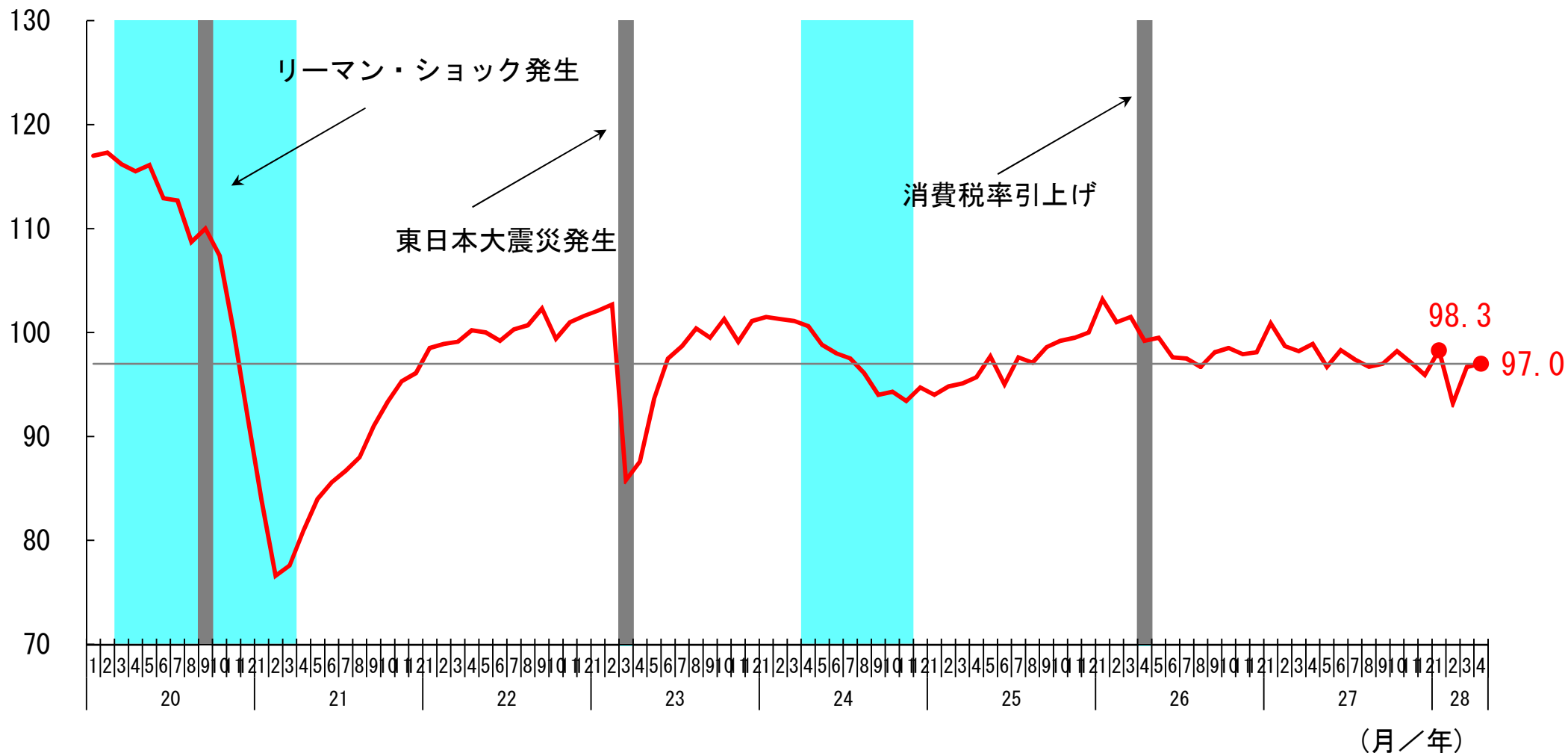
1) ▲はマイナス

2) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数の動向

- ・平成28年4月の鉱工業生産指数は、97.0(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年1月の98.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。  
2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

# 平成28年4月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は、一進一退」

### 基調判断の推移

- 平成25年9月～26年3月  
「生産は持ち直しの動き」
- 平成26年4月～5月  
「生産は横ばい傾向」
- 平成26年6月～8月  
「生産は弱含み」
- 平成26年9月～11月  
「生産は一進一退」
- 平成26年12月～平成27年4月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月  
「生産は一進一退」
- 平成27年8月  
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～  
「生産は一進一退」

### 鉱工業生産指数

#### 四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成27年 I期	99.3	1.1
II期	98.0	▲1.3
III期	97.0	▲1.0
IV期	97.1	0.1
平成28年 I期	96.1	▲1.0
II期	(98.5)	(2.5)

(注)

上記の平成28年II期の( )及び右表の平成28年4月、5月の( )内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したもの。

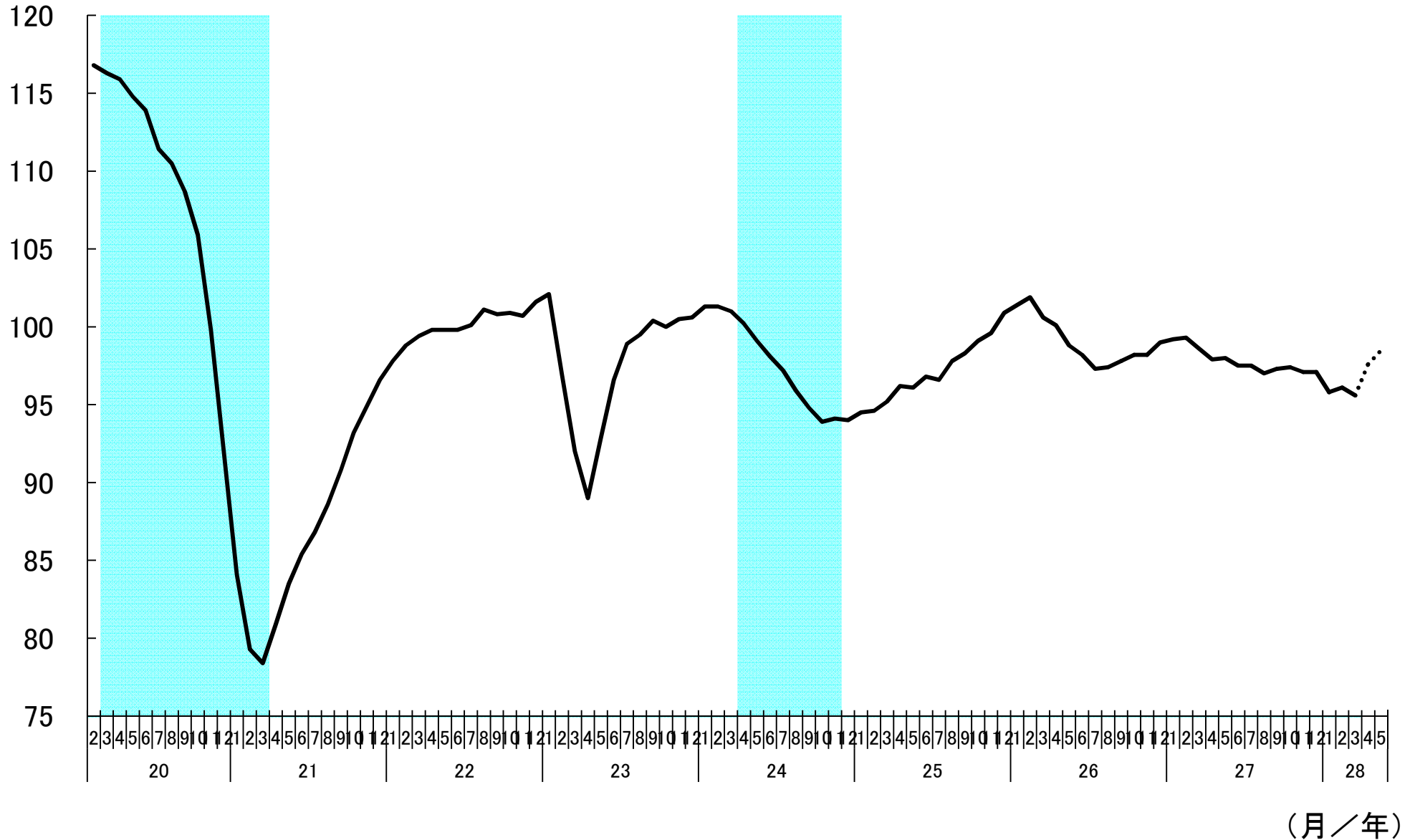
#### 月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成26年 5月	98.8	▲1.3
6月	98.2	▲0.6
7月	97.3	▲0.9
8月	97.4	0.1
9月	97.8	0.4
10月	98.2	0.4
11月	98.2	0.0
12月	99.0	0.8
平成27年 1月	99.2	0.2
2月	99.3	0.1
3月	98.6	▲0.7
4月	97.9	▲0.7
5月	98.0	0.1
6月	97.5	▲0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	▲0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	▲0.3
12月	97.1	0.0
平成28年 1月	95.8	▲1.3
2月	96.1	0.3
3月	95.6	▲0.5
4月	(97.6)	(2.1)
5月	(98.5)	(0.9)

# 参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 平成28年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>上昇への影響度が大きい2品目</b>	<b>1位の業種</b>	<b>化学工業（除. 医薬品）</b>	<b>3.5%</b>	<b>113.9%</b>
	品目	化粧品	9.0%	84.6%
		有機薬品	4.8%	17.7%
	<b>2位の業種</b>	<b>電気機械工業</b>	<b>3.9%</b>	<b>84.6%</b>
	品目	電気計測器	12.7%	21.4%
		静止電気機械	8.0%	13.0%
<b>3位の業種</b>	<b>はん用・生産用・業務用機械工業</b>	<b>1.3%</b>	<b>63.7%</b>	
品目	生活関連産業用機械	38.6%	63.1%	
	化学機械	328.9%	58.7%	
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>低下への影響度が大きい2品目</b>	<b>1位の業種</b>	<b>金属製品工業</b>	<b>▲ 6.0%</b>	<b>▲ 83.6%</b>
	品目	建設用金属製品	▲ 26.1%	▲ 89.9%
		暖ちゅう房熱機器	▲ 3.7%	▲ 7.6%
	<b>2位の業種</b>	<b>輸送機械工業</b>	<b>▲ 0.6%</b>	<b>▲ 38.2%</b>
	品目	乗用車	▲ 2.3%	▲ 56.0%
		トラック	▲ 7.3%	▲ 34.5%
<b>3位の業種</b>	<b>繊維工業</b>	<b>▲ 2.4%</b>	<b>▲ 14.1%</b>	
品目	炭素繊維	▲ 34.8%	▲ 16.0%	
	織物	▲ 1.4%	▲ 1.9%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 平成28年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	化粧品	9.0%	84.6%
	2位	自動車部品	3.6%	76.0%
	3位	生活関連産業用機械	38.6%	63.1%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	▲ 23.3%	▲ 168.8%
	2位	建設用金属製品	▲ 26.1%	▲ 89.9%
	3位	乗用車	▲ 2.3%	▲ 56.0%

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.5%	111.6%
		美容液	28.2%	38.1%
		化粧水	8.7%	13.2%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	2.3%	111.4%
		反応用機器	5,775.6%	60.0%
		ショベル系掘削機械	12.3%	44.6%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	0.3%	50.5%
		駆動伝導・操縦装置部品	11.6%	81.7%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	6.1%	23.9%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 2.3%	▲ 79.7%
		普通乗用車	▲ 3.7%	▲ 58.3%
		軽乗用車	▲ 9.9%	▲ 21.4%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 4.7%	▲ 90.2%
		橋りょう	▲ 39.7%	▲ 83.9%
		プラスチック製パイプ	▲ 13.7%	▲ 5.6%

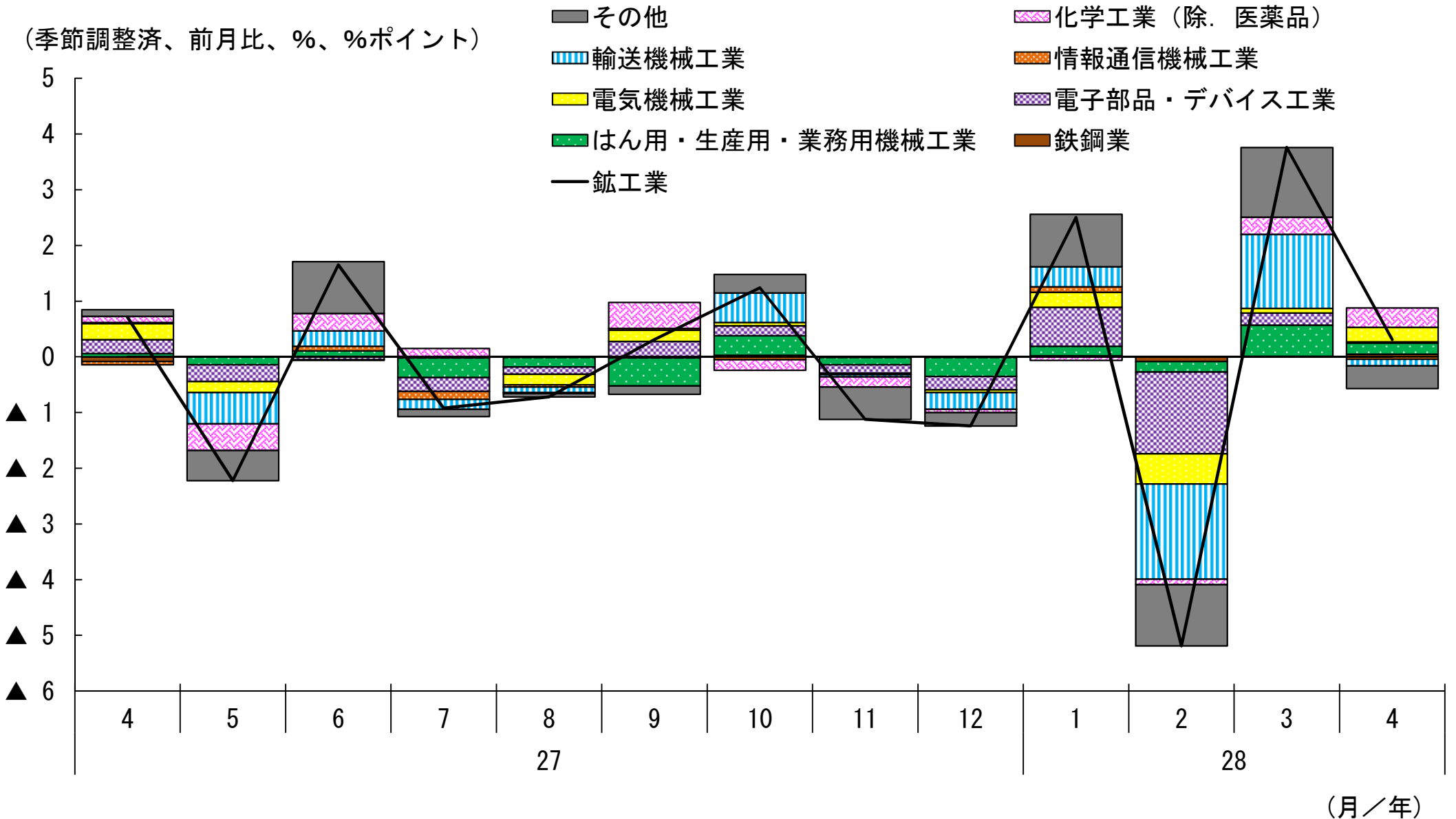
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年4月の生産指数は、輸送機械工業などが低下したものの、化学工業（除. 医薬品）などが上昇したため、前月比0.3%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

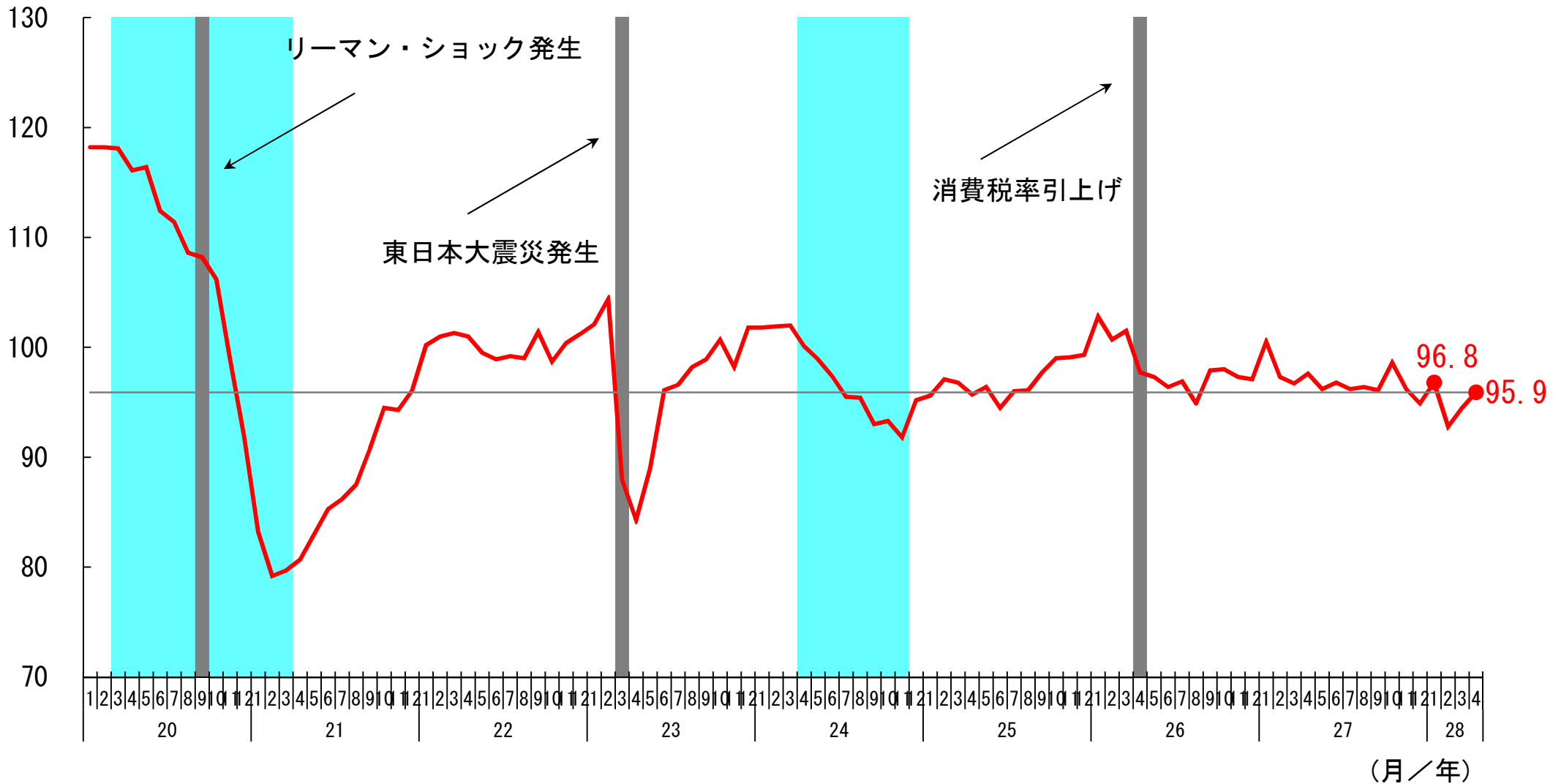




# 鉱工業出荷指数の動向

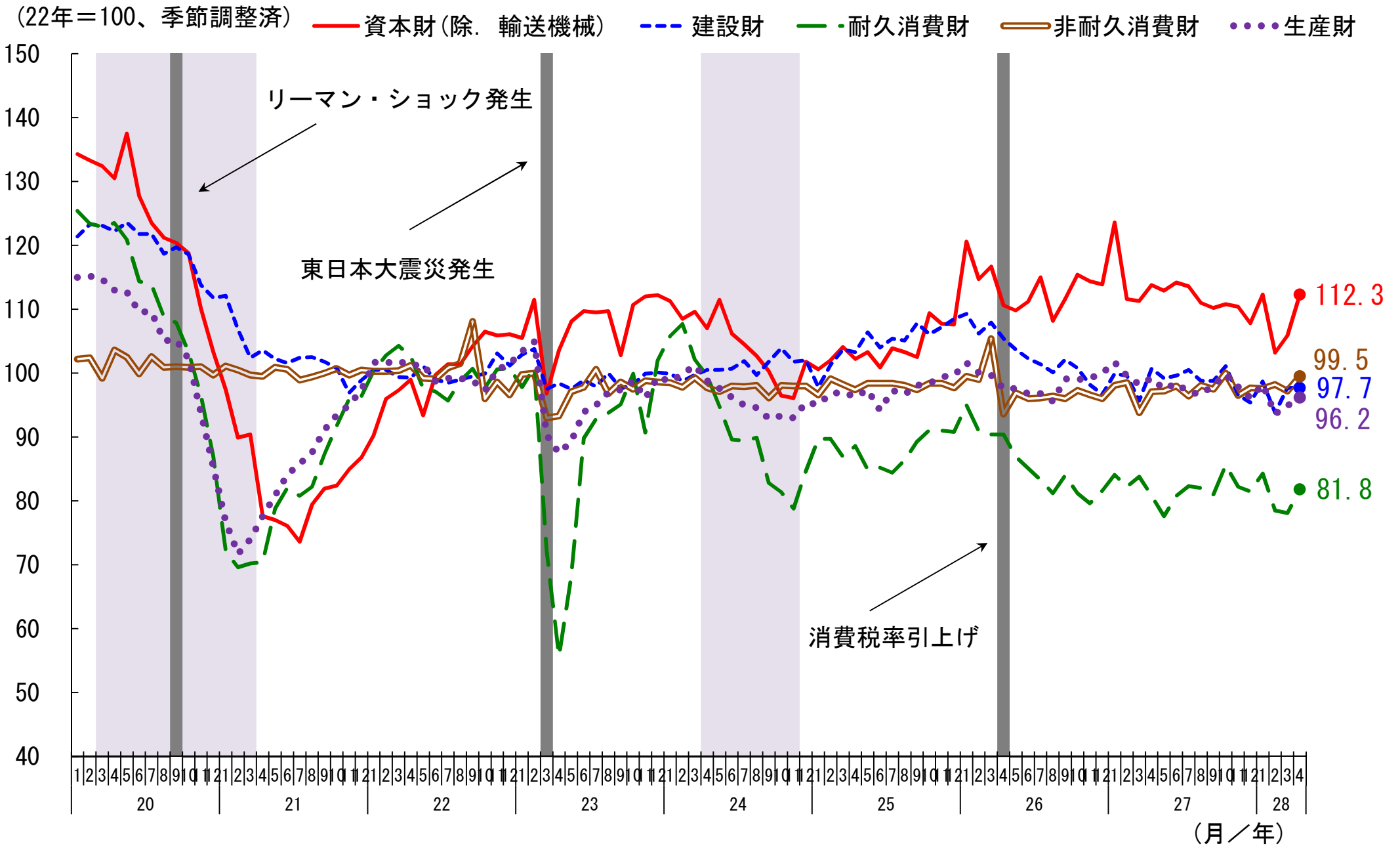
- ・ 平成28年4月の鉱工業出荷指数は、95.9(前月比1.5%)と2か月連続の上昇。
- ・ 平成28年1月の96.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 水色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 財別出荷指数の動向



(注) 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

# 平成28年4月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

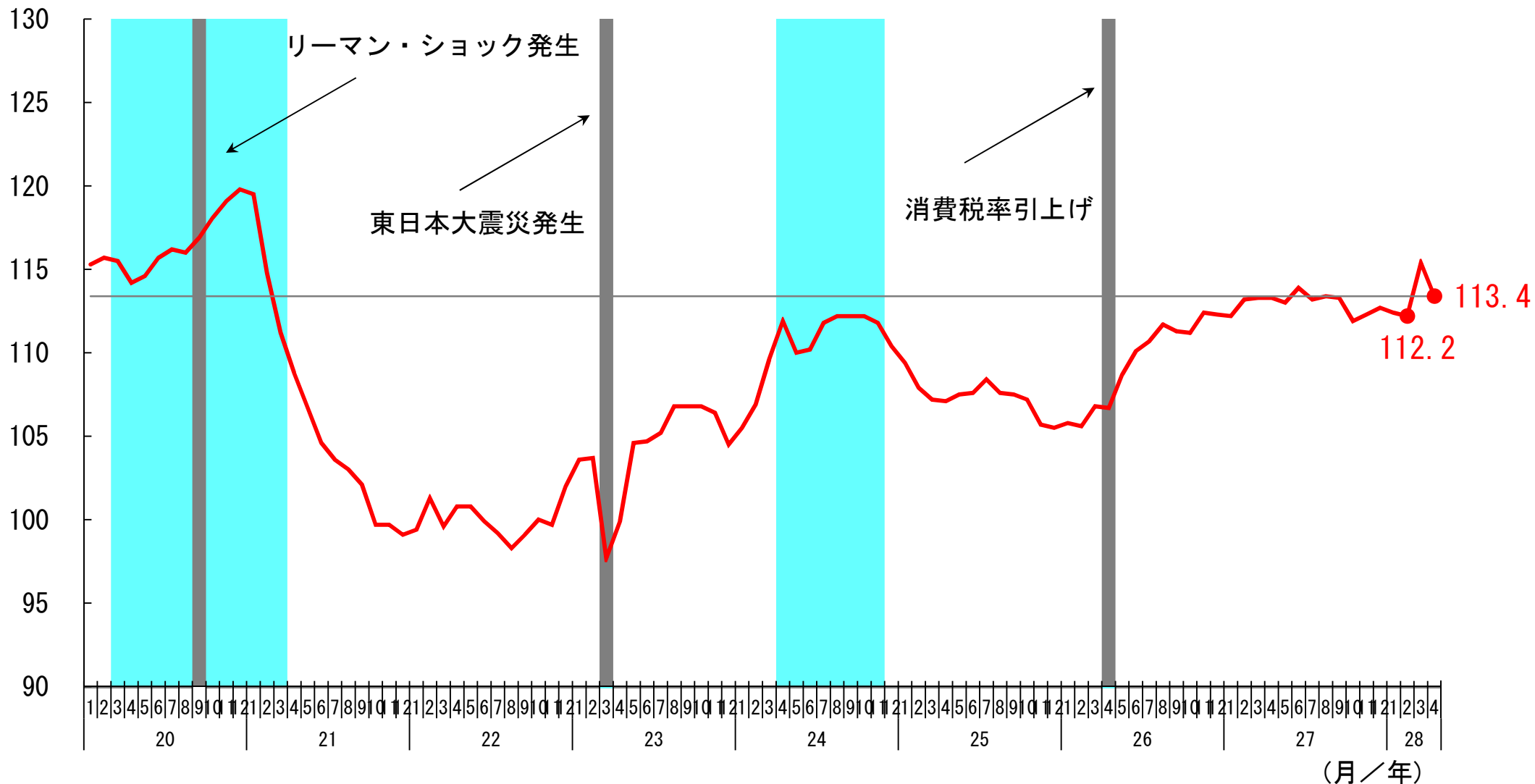
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財（除. 輸送機械）</b>	<b>6.0%</b>	<b>53.8%</b>
		水管ボイラ	789.6%	21.8%
		一般用蒸気タービン	174.6%	17.9%
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>1.4%</b>	<b>46.7%</b>
		駆動伝導・操縦装置部品	9.8%	14.0%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	20.5%	12.8%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>4.7%</b>	<b>40.3%</b>
		普通乗用車	6.5%	27.9%
		小型乗用車	16.2%	17.9%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>2.4%</b>	<b>19.2%</b>
		美容液	64.4%	8.1%
		ファンデーション	39.3%	6.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>0.0%</b>	<b>0.0%</b>
		鉄骨	10.6%	2.4%
		システムキッチン	10.0%	1.5%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

# 鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年4月の在庫指数は、113.4(前月比▲1.7%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年2月の112.2以来の指数水準。

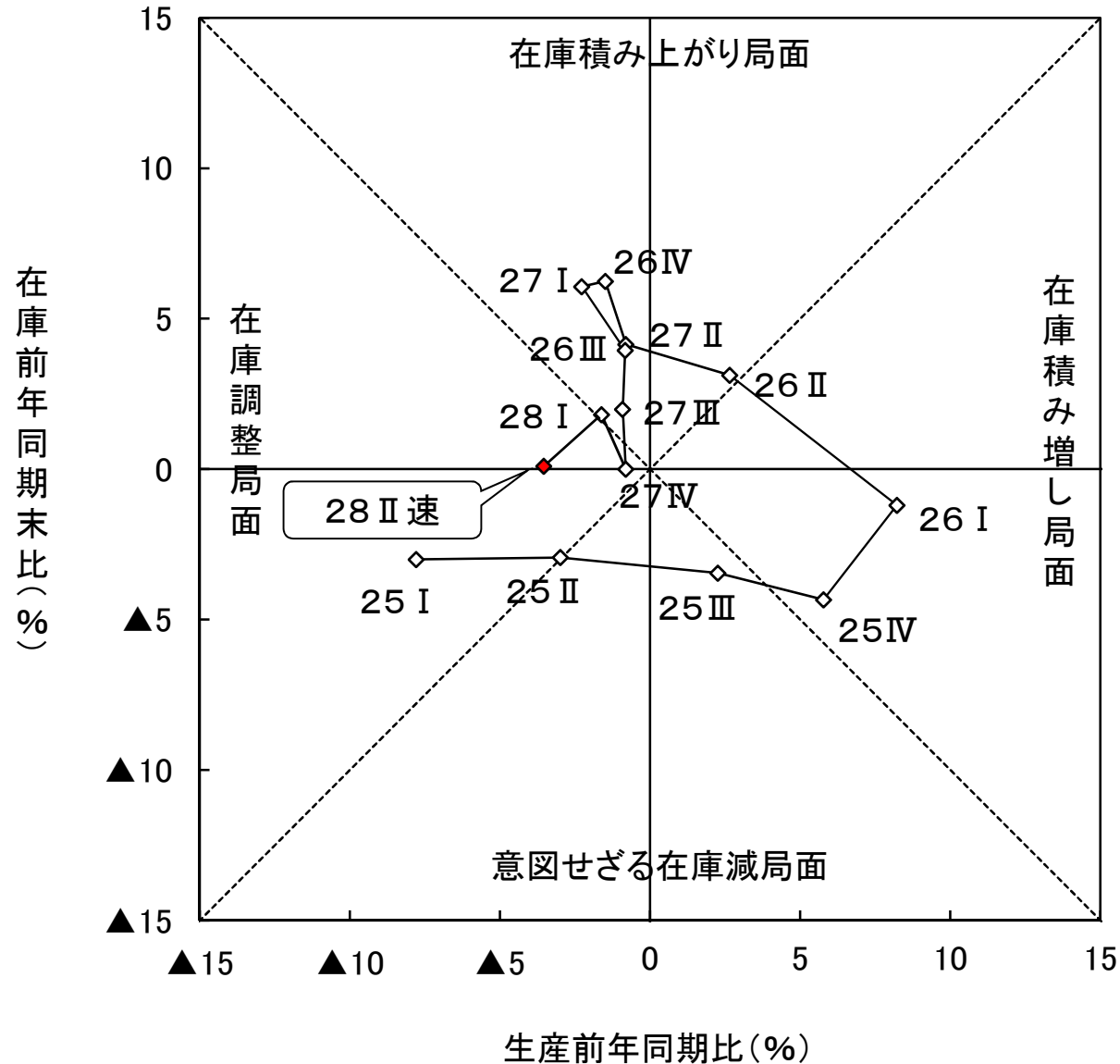
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は、景気後退局面。



# 鋁工業の在庫循環図



(注) 「28 II 速」は4月値を使用。